

研究所だより

第291号
2010年2月26日
発行：土佐清水市教育研究所
TEL 82-3016

<平成22年度 市教研関係>

1, 教研推進委員 (地区代表)

地区および部署	担当校・担当部署	役職
下ノ加江地区	下ノ加江中学校	委員
清水Ⅰ地区	中浜小学校	委員
清水Ⅱ地区	清水小学校	委員
半島地区	足摺岬小学校	委員
三崎地区	三崎小学校	委員
下川口地区	下川口中学校	委員
市教組	教文部長	委員長
渭南教組	教文部長	副委員長
校長会	校長会会長	副委員長
教育委員会	指導主事	事務局
教育研究所	研究員	事務局



<清水の将来像を絵で表現>

ALTのサムさんが企画した「コネクトしみず」が市民図書館を会場に行われました。

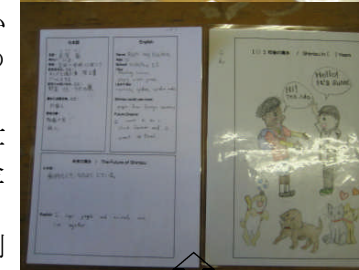
市内の全小学校の5・6年生を対象に、自己紹介文や清水の将来を絵で表現した作品を展示。わずか1日だけの展示でしたが、その陰には並ならぬ苦勞がありました。

対象児童の書いた清水の将来の日本語をすべて英訳し、児童がどのような思いで清水の未来像を描いているのかサム自身で感じ取ったのです。方言あり、独特の言葉の言い回しがあり、何時間も何日もかけ辞書とパソコンとのにらみ合いっこ。3ヶ月あまりの格闘の末、やっと仕上げることができました。その苦勞の甲斐あって、この企画を成功させることができました。

当日は、複数校から40人余りの児童が集まり、名刺作りやストラップ作りをして、子ども達は交流を図ることができました。

最後の仕上げは、協力してくれた児童、先生に対してのお礼です。作品を一枚一枚、ラミネートシファイルにして各学校で回覧できるようにするそうです。そして、市民図書館で保存をしてくれるということです。

まだ、その作業の途中ですが、サムの子供や清水に対する熱い思いが伝わってきます。



ラミネートの作業と仕上がった作品

2, 教研日程

組織教研	4月21日(水)	15:30~16:45
一日教研	8月25日(水)	9:00~16:45
半日教研	11月10日(水)	13:30~16:45
総括教研	2月初旬までに	

* 一日教研講演会内容

講師	渡辺 恵津子先生 (現在、埼玉県・公立小学校教諭)
演題	未定 (先生の実践をもとにした講演内容です)

3, 第1回教研推進委員会

4月15日(木) 15:00~16:45

内容：教研推進委員の確認
部会構成・部員確認
組織教研の日程および運営
その他

<言葉の雑学>

- ① 「ケリをつける」という言葉があります。この「ケリ」というのは、昔、歌のおしまいに「・・・けり」とつけるのが定形だったところから、おしまいにすることを意味するようになりました。
- ② ヘッピリスタイルを「及び腰」と言いますが、これは「及」という字にその形が似ているところから出たものです。

<「清水の教育」原稿、ありがとうございました>

各学校、市教研各部会、研究協力校、研究グループ、へき複部会と、それぞれに原稿いただきました。ご協力ありがとうございました。早速に印刷会社に作成依頼をお願いすることができました。3月中旬頃にはお手元へ届くかと思えます。

すべてに目を通させていただきました。当初、研究所では、校正はしないということでしたが、誤字、脱字、表現等々、表記上訂正する部分がありましたので、その部分につきましては訂正をさせていただきました。

苦言を呈しますが、次年度は原稿作成後は複数の目で読み直しをしていただければ幸いかと思えます。そうすれば、原稿作成担当者の苦勞もはかり知ることができますし、何よりも自分たちの1年間の歩みが集約されているわけですから、自分のものとすることができ、次年度に続く取り組みが確認できるものと思えます。

<3月の歳時記>

3月3日はひな祭りです。この由来は、平安時代の貴族の女の子の、人形遊びのことを、ひいな遊びと呼んでいました。また一方で、3月3日の桃の節句には、草木や紙などで人の形を作り、自分に降りかかる災難の身代わりになってくれるようにと願いながら、川や海に流しました。ひな祭りは、ひな遊びと桃の節句が結びついたものだと考えられます。江戸中期からは、ひな人形を飾って祝う女の子の祭りとして、貴族、武家、裕福な商人に広がっていったそうです。

ちなみに、おひな様の一夜飾りは縁起が悪いとされており、ひな祭りの1週間から10日前あたりに飾り始め、片付けるのは3日の翌日に済ませるのが一般的だそうです。